

# 「食」と「農」が育む 紫波のみらい



岩手県 紫波郡 紫波町



# ～今ある豊かさと食文化を 次世代へ～



「食べること」、「着ること」、「住まうこと」は、人々が生活していくうえで、必要な3つの要素です。「食べること」にかかせない「食べ物」は動植物のいのちであり、生産、流通、加工、販売など食卓に並ぶまでに多くの人が関わっています。

私は、日々の食卓に感謝し、四季折々の豊かな野菜や果樹を楽しみながら生活しています。外を散歩すると緑豊かな田んぼや真っ白なそば畑が広がり、農業の躍動感を受け止め、ここに生まれた喜びを感じながら新鮮な空気を胸いっぱいに吸い込みます。また、まちを訪れる方々からは、「農畜産物が豊富にある」「食べ物が美味しい」とお褒めの言葉を沢山いただいています。

これまでのまちの取り組みを振り返れば、「食べること」については、紫波町食育推進計画を策定し、健康で活力に満ちた食生活の実践と次世代に伝える活動を推進してきました。また、農畜産物の恵みである「食べ物」については、地産地消促進計画を策定し、農業を守り育て、紫波の豊かさを次世代に伝えていく取り組みを行ってきました。

これまでの取り組みの成果を集約・検証し、さらにこの2つの計画を連携・強化していくために「紫波町食育・地産地消推進計画」として平成29年度から5年間の計画を策定いたしました。この計画をとおして、今ある豊かさと食文化を次世代に継承する取り組みを実践してまいります。

この計画の策定にあたり、ご尽力を賜りました関係者の方々や貴重なご意見をお寄せいたきました町民の皆様に心から感謝申し上げます。

平成29年3月

紫波町長 熊 谷 泉

## 目 次

第1章	計画の策定にあたって	1
1	計画策定の背景	1
(1)	食育推進について	1
(2)	地産地消推進について	1
2	計画策定の趣旨	2
3	計画の位置づけ	3
4	計画の期間	3
第2章	課題と今後の方向性	4
1	食と農を取り巻く課題	4
2	今後の方向性	5
(1)	子どもの健全な食に対する意識の形成・定着	5
(2)	安全安心な食を選択する力の養成	5
(3)	食への意識を高める情報の充実	5
(4)	食と農の相互理解と後生に伝えたい食文化の継承	5
(5)	信頼される農畜産物の生産と付加価値の創出	6
第3章	計画の基本的な考え方	7
1	基本理念	7
2	基本目標	7
3	紫波町食育・地産地消推進計画 体系図	8
4	計画の推進体制	9
第4章	具体的な取組内容	10
1	子どもの成長に応じた食育の推進	10
2	安全安心な食を選択する食育の推進	12
3	食への意識を高める食育の推進	13
4	食と農を結ぶ食育の推進	16
5	地元農畜産物の生産・利用の促進	18
第5章	計画の推進	20
1	評価指標の目標値	20
2	進行管理	22